

HP OpenView Performance Insight

Report Pack for Interface
Reporting
バージョン 4.5

リリースノート



i n v e n t

ご注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 当社は、本書に関して特定目的の市場性と適合性に対する保証を含む一切の保証をいたしかねます。
3. 当社は、本書の記載事項の誤り、またはマテリアルの提供、性能、使用により発生した直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害または結果損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本製品パッケージとして提供した本書、CD-ROM などの媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

Restricted Rights Legend

Use, duplication or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 for DOD agencies, and subparagraphs (c)(1) and (c)(2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights clause at FAR 52.227-19 for other agencies.

Hewlett-Packard Company
United States of America

Rights for non-DOD U.S. Government Departments and Agencies are as set forth in FAR 52.227-19(c)(1,2).

Copyright Notices

© Copyright 2002-2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P., all rights reserved.

No part of this document may be copied, reproduced, or translated into another language without the prior written consent of Hewlett-Packard Company. The information contained in this material is subject to change without notice.

商標

OpenView は、Hewlett-Packard Company の米国の登録商標です。Microsoft®、Windows®、および Windows NT®は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。UNIX®は、The Open Group の登録商標です。その他の製品名は、それぞれの商標またはサービスマーク所有者の財産であり、これによって承認されています。

目次

範囲	4
関連ドキュメント	4
パッケージの概要	5
使用上の注意	5
パッケージの履歴	5
サポート対象の DataPipe	6
このリリースでの機能強化	7
機能強化	7
バグ修正	8
既知の問題	9
インストールと設定	10
依存関係	10
デモパッケージ	10
バージョン 4.5 へのアップグレード	10
テクニカルサポート	11

範囲

このリリースノートでは、パッケージの構造、最新の機能強化、バグ修正、および既知の問題について説明しています。インストール、設定、または準備の方法については説明していません。これらのトピックについては、下記に示した『Interface Reporting Report Pack ユーザーガイド』を参照してください。

関連ドキュメント

このリリースノートに関連するドキュメントには次のものがあります。

- 『Interface Reporting Report Pack ユーザーガイド』
- 『Interface Reporting ifEntry Datapipe ユーザーガイド』
- 『Interface Reporting ifEntry Datapipe 2.0 リリースノート』
- 『Interface Discovery Datapipe 2.0 ユーザーガイド』
- 『Interface Discovery Datapipe 2.0 ユーザーガイド』

パッケージの概要

Interface Reporting Report Pack は、SNMP で管理可能なデバイスのインタフェースのための包括的なレポート機能を提供します。このレポートパックは次のように設計されています。

1. 複数のサテライトサーバー、リモートポーター、および中央サーバーで構成される分散アーキテクチャに対応します。
2. ベース OVPI システムによる、20,000 以上のインタフェースでのレポート機能をサポートします。
3. 再インデックス化と指定インスタンスポーリングをサポートするデータパイプと連動します。
4. プロトコル単位でのデフォルトの設定を可能にします。
5. 例外の発生時にインタフェースごとのプロパティでの制御を可能にします。
6. 時間単位、日単位、および月単位のレポートを提供します。また F-30/60/90 の各予測も提供します。
7. デバイス別、カスタマ別、場所別、およびプロトコル別のデータのグループ化を可能にします。
8. 業界標準の「ビジー時間」メトリックが含まれています。

使用上の注意

このパッケージを分散システムとして複数のサーバーに配布する際に必要となる準備と変更については、『Interface Reporting Report Pack ユーザーガイド』を参照してください。

パッケージの履歴

バージョン	変更の概要
4.5	ベンダーおよびモデルレポートを追加。 レポートの作成とテーブルの操作がより簡単になるように TableAlias 値を修正。 カスタマ別に分割されたネットワークおよびサービスのステータスについて、その表示を更新する手段として使用する、「優先カスタマ」レポートを追加。
4.0	OVPI 5.0 向けの変更、および Oracle と Sybase をサポートするための変更。
3.0	このレポートパックの管理と設定を行うための OVPI 4.6 フォームを追

	<p>加。</p> <p>強化された Interface Reporting ifEntry Datapipe 1.1 により生成される、事前に計算された使用率とエラー率の値を格納するように、ベース/レートテーブルを強化。事前に計算された値を使用して、より使いやすいしきい値トラップが生成されるように、しきい値定義を強化。</p> <p>新しい Common Property Tables ストアドプロシージャを使用して、ノード、場所、およびカスタマのデータを追加するように修正。</p>
2.0	<p>再インデックス化と指定インスタンスポーリングをサポートする Interface Discovery および IRifEntry Datapipe を使用するように修正。</p> <p>Common Property Tables を使用して、デバイス、カスタマ、および場所のデータを格納するように修正。</p>
1.0	初回リリース

サポート対象の DataPipe

Report Pack for Interface Reporting 4.5 は、次の DataPipe でサポートされています。

- Interface Discovery Datapipe 2.0
- Interface Reporting ifEntry Datapipe 2.0

このリリースでの機能強化

機能強化

V4.5 では V4.0 に対して次の機能強化が追加されました。

- Interface Reporting 関連のすべてのテーブルで、テーブルの内容に対応した、よりの確かな名前が付けられるように、データベースの TableAlias 値を修正しました。
- ベンダーおよびモデルレポート一式を Interface Reporting Device サブパッケージの中に追加しました。
- カスタマ別に分割された多数の管理対象要素の全般的なステータスについて、その表示を定期的に更新するのに適した、「優先カスタマ」レポートを追加しました。

V4.0 では V3.0 に対して次の機能強化が追加されました。

- OVPI 5.0 向けの変更、および Oracle と Sybase をサポートするための変更を行いました。
- 新しい共有データディレクトリ DPIPE_HOME/data/PropertyData を使用するように、プロパティのインポート/エクスポート機能を修正しました。

V3.0 では V2.0 に対して次の機能強化が追加されました。

- このレポートパックの管理と設定を行うための OVPI 4.6 フォームを追加しました。
- V3.0 では新しいバージョン 1.1 の Interface Discovery および Interface Reporting ifEntry Datapipe が使用されています。V3.0 では、強化された Interface Reporting ifEntry Datapipe 1.1 により生成される、事前に計算された使用率とエラー率の値を格納するように、ベースレートテーブルが強化されています。
- 事前に計算された値を使用して、より使いやすいしきい値トラップが生成されるように、しきい値定義を強化しました。
- 新しい Common Property Tables ストアドプロシージャを使用して、ノード、場所、およびカスタマのデータを追加するように修正しました。

V2.0 では V1.0 に対して次の機能強化が追加されました。

- V2.0 では Interface Discovery Datapipe と IRifEntry Datapipe が使用されています。これらのデータパイプでは再インデックス化と指定インスタンスポーリングがサポートされています。
- V2.0 では Common Property Tables パッケージが使用されています。その結果、デバイス、カスタマ、および場所のデータを一度準備すれば、複数のレポートパックで使用できます。

バグ修正

バージョン番号	バグ番号	説明
4.0	N/A	N/A

既知の問題

- 「NSMbb67642: Install reporting attempts to “insert duplicate rows with unique index” errors on KIRDevice and KIRLocation.」これらのメッセージは警告であり、問題を示すものではありません。

インストールと設定

『Interface Reporting Report Pack ユーザーガイド』では、インストール、設定、および準備の手順について説明しています。

依存関係

Interface Reporting ソリューションをインストールする前に、先に以下をインストールしてください。

- OVPI 5.0
- OVPI 5.0 Service Pack 1
- OVPI 5.0に提供されているその他のすべてのサービスパック

注記: サービスパックは HP OpenView のサイト(<http://openview.hp.com/>)から入手できます。

デモパッケージ

パッケージのインストール中、デモパッケージをインストールするオプションを選択できます。OVPIによって数週間データが収集された後にレポートの表示を確認したい場合は、デモパッケージをインストールしてください。デモパッケージ内のレポートは対話形式で、テーブルはグラフにホットリンクされているため、個々のテーブルやグラフについてさまざまなビューのオプションを試すことができます。デモレポートのデータは静的なものであり、時間が経過しても変更はされません。

バージョン 4.5 へのアップグレード

Interface Reporting 4.0 を実行している場合は、*UPGRADE_Interface_Reporting_4_to_45* パッケージをインストールしてバージョン 4.5 にアップグレードすることもできます。アップグレード手順の詳細については、『Interface Reporting Report Pack ユーザーガイド』を参照してください。次の規則を覚えておいてください。

- アップグレードパッケージのインストール中、[OVPI レポートの配布]オプションを有効のままにするか、または無効にするかを選択します。アップグレードしようとしているシステムで、古いバージョンのレポートとフォームがすでに配布されている場合は、レポートとフォームがアップグレードされるようにレポートを配布するデフォルトを必ず受け入れてください。
- 分散システムの場合は、*Interface Reporting* の古いバージョンを実行しているすべての OVPI サーバーに、アップグレードパッケージをインストールしてください。

テクニカルサポート

次の HP OpenView の Web サイトを参照してください。

<http://openview.hp.com/> (英語)

<http://www.hp.com/jp/openview/> (日本語)

このサイトには、HP の提供する製品、サービス、サポートについてのお問い合わせ先や詳細が掲載されています。[サポート]をクリックすると HP OpenView のサポートページに移動します。このページから次の情報を参照できます。

- ダウンロード可能なマニュアル
- トラブルシューティング
- ソフトウェアパッチ
- 問題報告
- トレーニング
- サポートニュース